氏名	村田健児	部署	理学療法学科	職名	助教
研究分野	リハビリテーション科学、健康科学				
学位	博士（健康科学）				
学歴	2005年4月 - 2009年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 2012年4月 - 2014年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 リハビリテーション学専修修了 2015年4月 - 2018年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 博士後期課程修了				
経歴	2016年2月 - 2016年8月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 非常勤職員・非常勤講師 2016年9月 - 2017年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 助教 (産休代替) 2018年4月 - 現在に至る 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 助教 2021年4月 - 現在に至る 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 助教				
所属学会（役職）	日本理学療法学会、埼玉県理学療法学会（学術局編集部, 編集部長）、専門リハビリテーション研究会（編集委員）、肩関節学会、日本軟骨代謝学会、Osteoarthritis Research Society International (OARSI),日本整形内科学研究会 、日本エピジェネティクス研究会				

【2023年度実績】

1．研究業績

（1）著作

	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	運動器リハビリテーションに役立つ Fascia のみかた・とらえかた (PartⅢ 運動器の病態・適応・リハビリテーション)	共著	あり	文光堂	今北英高 (編)	2023年11月

（2）論文

	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Clinical utility of markerless motion capture for kinematic evaluation of sit-to-stand during 30 s-CST at one year post total knee arthroplasty: a retrospective study	共著	あり	○	BMC musculoskeletal disorders 24(1) 254-254	Katsuya Onitsuka, Keisuke Kubota, Moeka Yokoyama, Taku Miyazawa, Toyohiro Hamaguchi, Hiroto Taniguchi, Naohiro Usuki, Satoshi Miyamoto, Ken Okazaki, Kenji Murata, Naohiko Kanemura	2023年4月
2	Mild treadmill exercise inhibits cartilage degeneration via macrophages in an osteoarthritis mouse model	共著	あり		Osteoarthritis and Cartilage Open 5(2) 100359-100359	Yuichiro Oka, Kenji Murata, Kaichi Ozone, Yuki Minegishi, Takuma Kano, Naoki Shimada, Naohiko Kanemura	2023年4月
3	The effect of orthosis management on joint instability in knee joint disease: A systematic review	共著	あり	○	Prosthetics Orthotics International	Kenji Murata, Takuma Sakakida, Sora Kawabata, Moeka Yokoyama, Yuri Morishita, Shunsuke Kita, Keisuke Kubota, Takuma Kano, Takuma Kojima, Hidenobu Terada, Chiharu Takasu, Naohiko Kanemura	2023年9月
4	The infrapatellar fat pad contributes to spontaneous healing after complete anterior cruciate ligament injury Experimental Biology and Medicine.	共著	あり	○	Experimental Biology and Medicine	Kano Takuma, Minegishi Yuki, Terada Hidenobu, Takasu Chiharu, Kojima Takuma, Oka Yuichiro, Kawabata Sora, Shimada Naoki, Morishita Yuri, Murata Kenji, Kanemura Naohiko	2023年10月

5	ラット前十字靭帯由来線維芽細胞の細胞遊走能は膝蓋下脂肪体との共培養により向上する	共著	あり		基礎理学療法学	寺田秀伸, 小島拓真, 高須千晴, 川端空, 二瓶孝太, 高柳清美, 金村尚彦, 村田健児	2023年12月
6	Chronic Ankle Joint Instability Induces Ankle Sensorimotor Dysfunction: A Controlled Laboratory Study	共著	あり	○	The American Journal of Sports Medicine	Sora Kawabata, Kaichi Ozone, Yuki Minegishi, Yuichiro Oka, Hidenobu Terada, Takuma Kojima, Chiharu Takasu, Naohiko Kanemura, Kenji Murata	2024年1月
7	拘縮肩患者モデルを利用した治療者間に生じる認識の相違 ―関節可動域の目標設定と改善期間に着眼して―	共著	あり		理学療法―臨床・研究・教育	村田健児, 髙橋建生, 那須高志, 加納拓馬, 藤原秀平, 松本拓也, 田村健太, 島田直宣, 五十嵐郁弥, 上原優喜	2024年3月
8	運動が関節軟骨に及ぼす遺伝子変化の探索と検証 -細胞膜関連因子に着眼して-	共著	あり		理学療法―臨床・研究・教育	村田健児, 川端空, 高須千晴, 眞下葵, 押田竜河, 曽根賢太, 二瓶孝太, 永田詩織, 金村尚彦	2024年3月

（3）学会発表

	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	慢性足関節不安定症の発症メカニズム；足部不安定性により生じる足部靭帯内機械受容器の変性	共同	第 42 回関東甲信越ブロック理学療法士学会、埼玉	○川端空, 小曽根海知, 峯岸雄基, 寺田秀伸, 高須千晴, 小島拓真, 加納拓馬, 金村尚彦, 村田健児	2023年10月
2	Human Adipose Stem Cell-derived Exosomes Promote the Healing of Completely Injured Anterior Cruciate Ligament	共同	第11回日本運動器理学療法学会学術大会, 福岡	○Kano T, Shimada N, Terada H, Takasu C, Minegishi Y, Kojima T, Kawabata S, Murata K, Kanemura N	2023年10月
3	変形性膝関節症患者において膝関節総回旋可動域に占める外旋可動域の割合は膝関節痛と関連する	共同	第11回日本運動器理学療法学会学術大会, 福岡	○喜多俊介, 原和彦, 島村雅彦, 堀内健太, 村田健児, 小泉弘明, 小栢進也	2023年10月
4	Ribosomal protein s6: a hub gene mediating the effects of exercise in the sensory nervous system	共同	2023 Newro Science	○Kawabata S, Iijima H, Kanemura N, Murata K*	2023年11月
5	膝蓋下脂肪体の変性は軟骨細胞の異化作用を亢進する -馴化培地を用いたin vitro検証-	共同	第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 広島	○寺田秀伸, 高須千晴,小島拓真, 川端空, 金村尚彦, 村田健児	2023年12月
6	膝前十字靭帯損傷後早期の関節固定が与える自己治癒靭帯力学強度の変化	共同	第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 広島	○高須千晴, 寺田秀伸, 小島拓真, 川端空,押田竜河, 眞下葵, 森下佑里, 加納拓馬, 金村尚彦, 村田健児	2023年12月
7	外側ウェッジがもたらす足部内運動の変化 - 性差の検証	共同	第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 広島	○庄野仁美, 喜多俊介, 百瀬亮介, 久保和也, 村田健児, 大平吉夫, 桑原靖, 小泉弘明	2023年12月
8	フィブリン糊を用いた末梢神経切断・接合モデル妥当性の検討	共同	第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 広島	○佐藤路晃, 福田京佑, 島田直宜, 熊谷竜徳, 櫻井隆平, 小島拓真, 寺田秀伸, 峯岸雄基, 村田健児, 金村尚彦	2023年12月
9	運動が関節軟骨に及ぼす遺伝子変化 -バイオイン フォマティクス解析による変動遺伝子の検証-	共同	第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 広島	○村田健児, 川端空, 金村尚彦	2023年12月
10	中高年期ラットにおける自己治癒靭帯の力学的強度解析	共同	第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 広島	○森下佑里, 高須千晴, 加納拓馬, 村田健児, 金村尚彦	2023年12月

11	トレッドミル運動は運動終板の変性を抑制し脱神経期間の延長による運動障害を改善する	共同	第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 広島	○峯岸雄基，小曽根海知，岡優一郎，佐藤路晃，加納拓馬，川端空，福田京佑，島田直宜，村田健児，金村尚彦	2023年12月
12	エストロゲン誘導分子応答に関わるハブ遺伝子の同定と軟骨細胞における発現・関連応答の調査	共同	第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 広島	○小島拓真，寺田秀伸，高須千晴，川端空，加納拓馬，金村尚彦，村田健児	2023年12月
13	感覚神経の老化を予防する運動効果メカニズム　-In silico解析を用いた生命情報学的視点らの推察-	共同	第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 広島	○川端空, 飯島弘貴, 金村尚彦, 村田健児	2023年12月
14	関節軟骨の力学的ストレス感受性は力学的ストレス強度依存的に亢進し関節軟骨の変性プロセスを導く	共同	第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 広島	○川端空, 村田健児, 曽根賢太, 竹下和希,二瓶浩太	2023年12月
15	メカノレセプターへの慢性的な物理的ストレス増加は形態の変性と力学的ストレス感受性の低下を導く	共同	第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 広島	○川端空, 小曽根海知, 峯岸雄基, 岡優一郎, 寺田秀伸, 高須千晴, 小島拓真, 加納拓馬, 金村尚彦, 村田健児	2023年12月
16	変形性膝関節症の進行を予測するバイオマーカーの探索	共同	第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 広島	○金村尚彦, 川端空, 村田健児	2023年12月
17	低強度トレッドミル運動によるマウス坐骨神経圧挫後の軸索再生にはマクロファージの極性変化が関与する	共同	第129回日本解剖学会総会・全国学術集会	○福田 京佑, 佐藤 路晃, 島田 直宜, 峯岸 雄基, 坂本 祐太, 甘利 貴志, 志茂 聡, 村田 健児, 金村 尚彦	2024年2月

（4）その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	研究から診る足 -専門医療機関のためのニッチ研究への挑戦と展望-（シンポジウム）	共著	第4回日本フットケア・足病医学会年次学術集会	○村田健児	2023年12月
2	DYMO/Dynamic Motion Orthotis 新型インソールが身体に与える影響について	共著	The 1st JFCS Special Webinar for Alliance Companies 2024	○村田健児	2024年2月

2．競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省 科学研究費補助金（基盤B）	前十字靭帯治癒過程の細胞外マトリクス合成機序解明と促進するリハビリテーション開発	研究分担者	2021.4-2024.3
2	文部科学省 科学研究費補助金（基盤C）	正常な自由運動と損傷組織への力学的ストレスは前十字靭帯と半月板の治癒を促進させる	研究分担者	2019.4-2025.3
3	文部科学省 科学研究費補助金（萌芽）	光遺伝学的手法と運動療法を併用した末梢神経損傷後の新規治療戦略の創出	研究分担者	2021.4-2025.3
4	埼玉県立大学 奨励研究費 S研究	エストロゲンの抗炎症作用に着目した関節軟骨分解メカニズムの解明と治療戦略の探索	研究代表者	2023年4月～
5	埼玉県立大学 科研費支援コース (500万以上)	運動習性が導く変形性膝関節症の予防に向けた戦略的基盤の構築	研究代表者	2023年4月～
6	埼玉県立大学 科研費支援コース (500万以下)	細胞から組織を強くする -細胞ロバストネスが導く生体外細胞リハビリテーション技術の確立-	研究代表者	2023年4月～

3．教育業績

（1）講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	発達障害理学療法学		2	脳性麻痺についての講義
2	身体構造運動学	○	10	上肢・脊椎に関する講義：講義録画、VOD
3	運動器理学療法学	○	6	上肢・脊椎に関する講義：講義録画、VOD
4	医科学研究法（検査専攻）		1	理学療法分野における研究内容について講義
5	理学療法研究法		0.5	理学療法分野における研究内容について講義
6	理学療法応用解析学	○	8	生化学実験研究について実習及びハンズオントレーニング
7	障害基礎解析学特論		2	大学院研究の基礎解析分野について講義
8	リハビリテーション教育学		1	Active learningについて講義

（2）演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	理学療法特別演習		0.5	4年生に対し、国家試験に関わる領域の解説
2	理学療法セミナーⅠ（OSCE1）		8	3, 4年生に対し、科目担当者として試験監督とフィードバックを担当
3	理学療法セミナーⅡ（OSCE2）		3	3, 4年生に対し、科目担当者として試験監督とフィードバックを担当
4	リハビリテーション学演習（障害基礎解析学）		4	大学院研究の基礎解析分野について演習

（3）実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	運動学実習		10	2年生に対し、運動学についての実習を指導
2	臨床教育実習Ⅰ		2週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当
3	臨床教育実習Ⅱ		5週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当
4	臨床教育実習Ⅲ		8週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当
5	臨床教育実習Ⅳ		5週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当
6	運動器理学療法学実習		6	上肢・脊椎に関する講義：講義録画、VOD
7	発達障害理学療法学実習		2	脳性麻痺についての講義
8	ヒューマンケア体験実習		集中	1年生ヒューマンケア体験実習

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数			
1	卒業論文	2023.4-2024.3	主指導	6名	副指導	名
2	修士論文	2023.4-2024.3	主指導（指導教員）	5名	副指導（指導補助教員）	3名
3	博士論文	2023.4-2024.3	主指導（指導教員）	0名	副指導（指導補助教員）	1名

（5）その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	春日部市立看護専門学校 (非常勤講師)	2023.4-2024.3	解剖・生理学Ⅰ、解剖・生理学Ⅱ
2	春日部市立看護専門学校 (非常勤講師)	2023.4-2024.3	国家試験対策

4．社会貢献活動

（1）講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	公開講座	春日部市	五十肩を予防する-生活から見直す姿勢と肩甲骨の運動	2023年6月
2	専門職公開講座（スキルアップ）	埼玉県立大学	肩関節の理学療法	2023年9月
3	オープンカレッジ	埼玉県立大学	五十肩を予防する	2023年9月
4	研究助成金 研究支援制度受賞講演	一般社団法人 日本整形内科学研究会	膝関節ファシアが導く関節軟骨へのパラクライン効果 -ファシトカインという新たな概念の創造に向けた基盤構築-	2023年11月

5	オープンカレッジ	埼玉県立大学	五十肩を予防する	2024年2月

（2）国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県理学療法学会	学術局編集部（部長）	2023年4月～
2	専門リハビリテーション研究会	編集委員	2023年4月～
3	日本運動器理学療法学会発行　運動器理学療法	調整委員	2023年4月～
4	第12回日本運動器理学療法学会準備委員	準備委員	2023年4月～

（3）ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	NECネッツエスアイ	大学向けソリューションの導入 -セキュリティ性を高めつつ、大学内外の情報共有を効率化-	2023年11月

（4）その他

	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	(医)草加整形外科内科	理学療法・教育支援	2023年4月～
2	産業支援	(医)やつか整形外科内科	理学療法・教育支援	2023年4月～
3	産業支援	(医)山手クリニック	理学療法・教育支援	2023年4月～
4	産業支援	(医)足のクリニック表参道	アドバイザー：研究支援	2023年4月～
5	地域貢献活動	(一般社団法人)ペラーダジュニアーズサッカースクール	アドバイザー（JFA公認C級ライセンス）	2023年4月～

5．学内運営

	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書委員会（学部）	2023年4月～
2	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書委員会（大学院）	2023年4月～
3	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験管理部会	2023年4月～
4	学長指定プロジェクトへの関与	教育・研究・地域連携の一体的推進事業 「地域スポーツコミッションの基盤構築に向けた取り組み -障害予防検診からスポーツと健康の教育・研究・活動を実践する」	2023年4月～

6．受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）

	受賞名	主催	受賞年月
1	学会奨励賞（共著） 慢性足関節不安定症の発症メカニズム；足部不安定性により生じる足部靭帯内機械受容器 の変性,	第42回関東甲信越ブロック理学療法士学会	2023年10月
2	日本整形内科学研究会 研究助成金 研究支援制度受賞 第２類（代表者）	一般社団法人日本整形内科学研究会	2023年11月

7．特許の取得

	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		

8．特記事項

1	該当なし